

# ワーケーション推進のターゲットの設定・ 具体的取組について

令和2年11月25日

山梨県

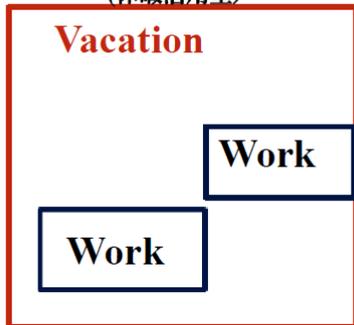
# ターゲットの設定について

## ターゲットの設定と果たすべき役割についての主なご意見

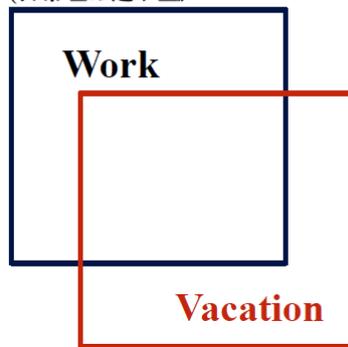
- どこをターゲットにするのか検討が必要。
- ワークেশョンの種類のうち、ⅠとⅡは、個人事業主に近い個人はマーケットになりうる。Ⅲは中間、Ⅳは企業にアプローチすべき。
- 企業にアプローチしても難しい地域もあるし、企業へのアプローチを重点的にすべき地域もある。
- いかにしてターゲットをしっかりと絞り込んで取組を進めるかが非常に重要。
- 明確なコンセプトを持って、アピールすることが重要。
- オフサイトミーティングは、今後、非常に重要な取り組みになる可能性。

## (再掲・参考) ワークেশョンの4類型

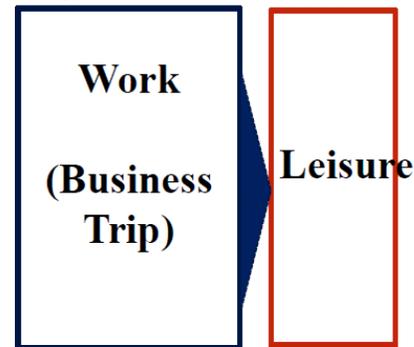
I. 休暇の中に仕事を織り込んだもの ワークেশョンスタイル (休暇活用型)



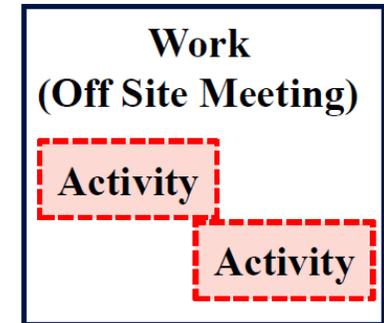
II. 仕事と休暇を重ねて織り込んだ ワークেশョンスタイル (日常理め込み型)



III プリジャー  
出張後にレジャーを付け足す



IV オフサイト会議  
団体での研修



# 具体的取組について①

## 個別具体的な施策についての主なご意見

| スパン |   | 意見   | 県        | 市町村      | 各民間事業者 | 関連施策  |   |                          |
|-----|---|--|----------|----------|--------|---|---|--------------------------|
| 短期  | 1 | ・効果的なブランディング   | 広域的取組・支援 | 地域における取組 |        |   |   |                          |
|     | 2 | ・都市部の自治体と連携したプロモーションの展開                              |          |          |        |   |   |                          |
|     | 3 | ・ワーケーション実施者と地域コミュニティとの接点づくり                          |          |          | ○      | [R2. 9月補正予算/ワーケーション導入支援事業費]                     |   |                          |
|     | 4 | ・オンライン会議等に対応した快適なワークスペースの確保                          |          |          | ○      | [R2. 9月補正予算/ワーケーションモデル事業費補助金、二拠点居住拠点整備推進事業費補助金] |   |                          |
|     | 5 | ・本県の強み（富士山等の豊かな自然、ワインや水等の食関連資源、東京からの近さ）を活かしたプログラムの造成 |          |          | ○      | [R2. 9月補正予算/ワーケーション導入支援事業費]                     |   |                          |
|     | 6 | ・ワーケーションに同行する家族の受入体制整備                               |          |          | ○      | [R2. 9月補正予算/ワーケーション導入支援事業費]                     |   |                          |
|     | 7 | ・山梨でワーケーションをする気にさせる地域ならではのプロジェクトづくり                  |          |          | ○      |   |   |                          |
| 中長期 | 8 | ・地域として多様なワーケーションスタイルを受け入れる機運の醸成                      |          |          |        |   |   |                          |
|     | 9 | ・二次交通の充実   |          |          |        |   | ○ | [9月補正予算/やまなし観光MaaS整備事業費] |

## 具体的取組について②～ワーケーション導入支援事業

- R2. 9月補正予算に計上したワーケーション導入支援事業について、企画提案審査を行い、受託事業者として株式会社JTB甲府支店を選定した。
- 今後、ワーケーションワーキンググループでの意見や受託事業者からの企画提案等を踏まえ、速やかに支援事業を実施する。併せて、受入環境整備に係るモデル事業費補助金についても関係者等と調整。

### 想定している支援事業（案）

| 業務内容    | 支援対象                       | スケジュール                  | 意見等を踏まえた留意事項                               |
|---------|----------------------------|-------------------------|--|
|         |                            | 月<br>①② ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ①② |  |
| 推進体制整備  | 観光協会、宿泊事業者                 |                         | 地域で一体的に取り組むことができる体制を整備                     |
| 人材育成    | 観光協会                       |                         | 将来的な自走を見据えて人材を育成                           |
| 体験プログラム | 観光関連事業者、交通事業者、農業・レジャー関係者など |                         | 農業体験、自然体験など本県独自の魅力的なプログラムを造成<br>家族、同行者にも配慮 |
| 情報発信    | 観光協会、宿泊事業者                 |                         | ターゲットを明確にしたうえで、地域の実情に応じた情報を発信              |
| マニュアル作成 | ワーケーションに取り組む観光協会、自治体、事業者など |                         | モデル地域以外の関係者が活用できる汎用的なマニュアルを作成              |

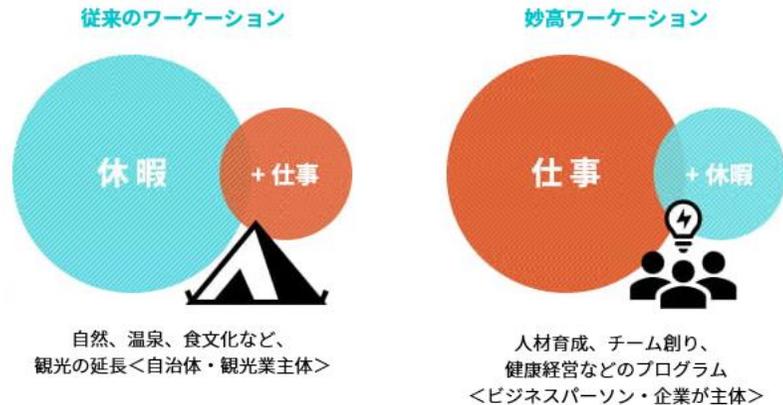
## (参考) 他地域の取組事例について

### ➤ 新潟県妙高市 (ターゲット: 企業)

「妙高ワーケーション」というコンセプトの下、ワーケーションの主体を「ワーク」ととらえ、企業をターゲットとしたワーケーション推進を開始し、2020年11月7日～8日にモニターツアーを実施。

### ➤ 長野県富士見町 (ターゲット: 個人および企業)

2015年12月にテレワーク&コワーキングスペース「富士見森のオフィス」がオープン。個人単位のテレワーク、企業のオフサイトミーティング等を受入。「富士見森のオフィス」内の企業向けスペースには、都内に本社を置く企業を中心に全7社が入居し、満室状態となっている。



### 私たちが考えるワーケーションの主体は「ワーク」

わたしたちは、ビジネスパーソンが主体になる、「仕事に役立つ」「チームに役立つ」「ビジネスに役立つ」ワーケーションを理想とし、妙高が企業にとって「価値ある場」でありたいと考えています。

- 都市部のオフィスでは体験できない「深い学び」がある
- 会社の会議室では得られない「気づき」がある
- ビルに囲まれた環境では得られない「癒し」がある
- 上司と部下との関係ではない「コミュニケーション」がある

出典：妙高ワーケーションHP (妙高市)



出典：富士見森のオフィスHP (富士見町)